神宮寺小学校
理科室通信

理科室からこんにちは

第 74 号

～　親子で理科を楽しもう　～

平成 23 年 1 月 17 日

～　虫たちの冬ごし　その３　～

「？？　何かのたまご？」
「残念，イラガという『ガ』のマユなのでした。」
「ガのマユ？これが？」
「そう。シジュウカラという鳥は，そのことをちゃんと知っているんだ。そして，食べ物が少ない冬に，これをつついて割って，中の虫をたべるんだよ。」
「ひゃ～。春をまっている中の虫にとっては大めいわくだよ。」
「そうだよね。でも，鳥にとっては宝の栄養カプセルなんだよ。ほら，くわえて飛んで行った。」
「ほんとだ。」
「ああやってつついて割るんだ。けっこうかたいぞ。」

「わると，中から虫が出てくるのかな。」
「イラガのサナギになる前（前蛹（ぜんよう））のものが出てくるよ。見ててごらん。」
「あっ，出た。黄色いよ。」
「イラガの幼虫は黄緑色だから，色が変わっているね。幼虫の頃のトゲが少し残っているようだねえ。（色は神宮寺小学校のウェブサイトにある「理科室からこんにちは」で確認してね）。」
「イラガがせっかくかたいからを作って身を守っても，これじゃたまらないね。モンシロチョウのサナギが心配になってきちゃったよ。」
「春までにどうなるか観察してみよう。ちゃんとチョウになれるといいね。」
「うん。」